

進路通信

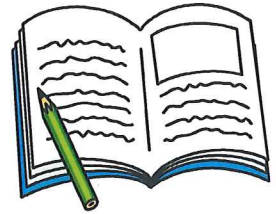
親和中学校・親和女子高等学校
平成26年5月8日(木)第1号
進路指導部

<http://www.kobe-shinwa.ed.jp>

吹き渡る風が青葉の香りを運んで来る季節となりました。遠足・文化祭が行われ活気あふれる新年度が始まりました。新入生にとっては、毎日が新しい発見や感動の連続のひとつ月だったのではないのでしょうか。長い坂道を登り通う毎日に少しは慣れましたか。

物事は、人に教わるよりも自分で直接体験してゆくほうが身につく「習うより慣れる」と言われています。学習を初めとして学校生活・家庭生活のペースをつかみ、心身ともに成長を遂げてほしいと願います。

努力して結果が出ると自信になる。
努力しないで結果が出るとおごりになる。
努力しないで結果も出ないと後悔が残る。
努力して結果が出なくても経験が残る。
経験は人を育てる。



学習は学びの反復です。「学」は「学び」です。「習」とは、ひな鳥が「羽」を飛べるようになるまで繰り返しバタバタとさせることです。つまり「習」とは「繰り返し行って身につける。」意味です。学校で習う学習も同様に、繰り返し学ぶことで学力が身につけてゆくものです。中高一貫教育である親和の良さを十分に生かした学習をしてほしいと願います。高校受験勉強のない中学校生活では、受験のためだけの学習は必要ありません。将来、どんな仕事に就き何がしたいのかを考えた学習に励むことができます。そのためには早い時期から、高校卒業後にどんな学部でどんな学習や研究をすればよいのかを考えなくてはなりません。高校に進級し、自分の夢や希望を自己実現できる進路を選択できるように、中学生である今から近い将来を見据えた努力を積み重ねてほしいです。

4月から進路閲覧室に、高校3年生はもちろん、高校2年生、高校1年生も連日入室しています。志望大学の過去問や大学の学部で学べることなどを調べに来ています。

惜しまない努力がいつか大きな実を結びます。学校で習う学習に不必要な学習はありません。特に中学校で学ぶことは、社会へ巣立つ際の一般教養の基礎となります。教科の学習や学校行事で学ぶことも大事にしてほしいです。

経験や体験は人を育てます。先日の遠足や文化祭も同様です。学力同様に大事なものは「人」です。好感の持たれる人に育ってほしいです。学級や学年、学校行事で学ぶことは大きな力となります。あなたがもし企業の採用担当者なら、どんな人を採用しますか。あなたが理想とする人は、あなたが採用したいと思える人になることだと思います。

ゴールデンウィークが過ぎ去り、気がつけば中間考査まで二週間足らずになりました。計画的に過ごして学年始まりの大事な1学期を充実させてください。

中間考査を克服！

中間考査が20日(火)・21日(水)・22日(木)に実施されます。計画的に学習しよう。

1年生

初めての定期考査になります。小学校時代のように単元毎にテストがあるわけではありません。試験範囲の学習計画を立てて試験に臨んでください。入学時に実施した国語・算数の試験で一喜一憂している生徒もいるようですが、スタートはここからです。家庭学習の時間をしっかりと取って、初めての定期考査に臨んでください。

2年生

1年生の学習の継続ですが、苦手教科を作らない努力をしてください。苦手な教科から逃げ出すのではなく、苦手な教科や分野の基本的な学習から取り組んでください。そして分からないことや不十分なところは先生に聞きにきてください。1年間過ごした慣れを、良い意味で生かした学習計画を立ててください。

3年生

来年は高校へと進学していく大事な学年です。高校になってからがんばるのでは遅いです。大学進学へのプレッシャーの少ない今だからこそ頑張れるのだと思います。一夜漬けの学習は実力にはならないです。実力を身につけられるように、毎日の学習をもう一度見直して試験の計画を立てよう。英語・数学は毎日学習しよう。



気温会近くの自然

素直が1番伸びる！&復習

まず各教科の先生から伝えられた学習方法を実践してみよう。

伸びる生徒の1番の条件は、素直であることです。もう一度解いてみよう・家で読んでおこう・調べてみよう等々。先生から言われた学習をやってみることが、いつの日か自分の学習方法につながり学力の伸びにもつながります。

次に必要な家庭学習は復習です。今日学校で習ったことは、たとえ短時間であってもその日のうちに必ず復習してください。教科書・ノートに目を通すだけでも、その日のうちにやる習慣をつけてください。継続は力なり！

FREEDOM

2014年文化祭テーマ

好天に恵まれた文化祭。

校庭はみんなの笑顔の華が咲いていました。連日、朝早くから練習していた部もあり、どの場面でも感動でいっぱいでした。学校をひっぱり親友会の力強くきめ細やかな

活動と中学生・高校生の全生徒の活躍に賞賛！

感動はみんなで築き上げるものなんだね！

